

中村西中学校の授業づくりの視点

(研究協議のポイント)

～主体的な学び・対話的な学び・深い学びの実現を目指して～

文科省教育課程部会教育企画特別部会審議のまとめ（抜粋）

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる。

【主体的な学び】

文科省教育課程部会教育企画特別部会審議のまとめ（抜粋）

生徒同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める。

【対話的な学び】

主体的な学びとは

自ら課題を持ち、学習法や手段を身につけ、意欲的に課題を追究すること



- ◇生徒の意欲（興味関心）につなげるめあてや発問導入の工夫
- ◇自分の考えを主体的に書く時間の確保
（ノート指導）
- ◇学習の振り返りを書く活動の充実
- ◇学習課題に対して粘り強く取り組む姿勢

対話的な学びとは

個の考えを持ち、他者と意見を交流することで考えを深めたり、広げたりすること



- ◇言語活動を充実させ、ペア・グループ・学級全体等で意見を交流させる授業形態の工夫
- ◇自分の考えを伝える発表の仕方
- ◇友だちの意見をしっかり聴く姿勢の徹底
- ◇思考ツールの活用
- ◇生徒の意見を深めつなげる発問の工夫

深い学びとは

習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を手がかりに考えることを通して、自らの考えを広げ深めること



（1時間の学習過程を通して）

- ◇学んだことを活かして、さらに活用させようとする工夫
- ◇知識が増え、つながり、発展させるための工夫

文科省教育課程部会教育企画特別部会審議のまとめ（抜粋）

習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせながら、問いを見いだして解決したり、自己の考え方を形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう。

【深い学び】